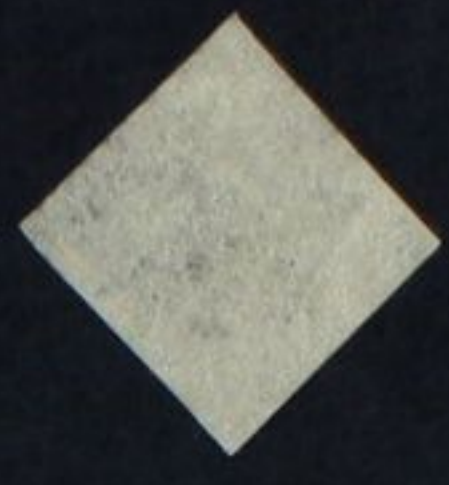




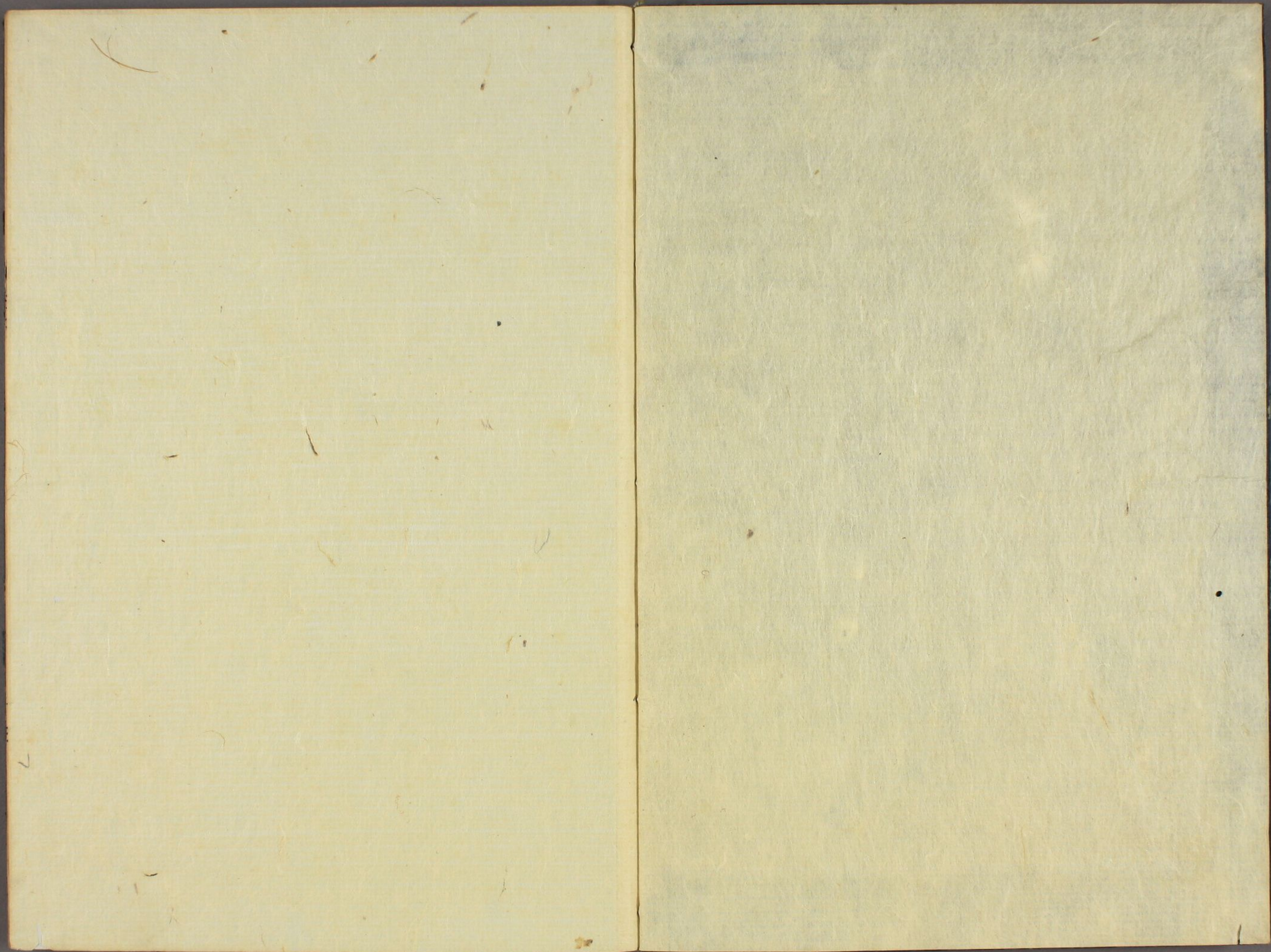
机石鈔

七



中村俊定文庫
文庫 18
1015
7







松石抄第七

所行と

茶野

心誠



園融院ははるうをほひくは茶野なり
西華送ゆりうに二とせはあぐ子首
かゝるはりしあひまひていふゆりう

茶野

望れまのひくわりのしやまはるなりえん

左衛門

舟景

舟景

白坂のまゝにみれ持ふしと初は茶野の

茶野

と文

はあひる人云世の中さううゆゆれ
舟景はあよとまゝと茶野のし茶野
茶馬のりゆりまじいゆりう

後

子日くあはるは茶野のまゝにみれ持ふしと初は茶野の

平島

麻 草 葵 符 松 荻 柳 小洞

麻	草	葵	符	松	荻	柳	小洞
尾下 福也也美意乃金木の事麻の事	真幸 名木松の事白糸の事第一事等の事	日 法人の事の事葵草の事	日 宗野の符の事肉の事	日 白の事松の事	日 志の事松の事	日 松の事	日 松の事
冬	夏	冬	夏	冬	夏	冬	夏

松 梅水心 松 六思 孫 川 瑞 松 松 松

松	梅水心	松	六思	孫	川	瑞	松	松	松
初 千の事	後 松の事	後 松の事	後 松の事	後 松の事	後 松の事	後 松の事	後 松の事	後 松の事	後 松の事
冬	夏	冬	夏	冬	夏	冬	夏	冬	夏

雲染

日

じは雲の染めじりしるる雲は物毎にあり

人會

有鳥

新成集

けの鳥はけしむる鳥はけしむる鳥はけしむる

有鳥

川魚

千鳥

じ川魚はけしむる魚はけしむる魚はけしむる

有鳥

有鳥

新成集

けの鳥はけしむる鳥はけしむる鳥はけしむる

有鳥

有鳥

新成集

けの鳥はけしむる鳥はけしむる鳥はけしむる

有鳥

有鳥

新成集

けの鳥はけしむる鳥はけしむる鳥はけしむる

有鳥

有鳥

新成集

けの鳥はけしむる鳥はけしむる鳥はけしむる

有鳥

有鳥

新成集

けの鳥はけしむる鳥はけしむる鳥はけしむる

有鳥

有鳥

新成集

けの鳥はけしむる鳥はけしむる鳥はけしむる

有鳥

有鳥

新成集

けの鳥はけしむる鳥はけしむる鳥はけしむる

有鳥

有鳥

新成集

けの鳥はけしむる鳥はけしむる鳥はけしむる

有鳥

徳和堂

さきさきとては月流く月流く月流く

有鳥

林和堂

林はけしむる鳥はけしむる鳥はけしむる

有鳥

有鳥

夕はけしむる鳥はけしむる鳥はけしむる

有鳥

有鳥

夕はけしむる鳥はけしむる鳥はけしむる

有鳥

有鳥

夕はけしむる鳥はけしむる鳥はけしむる

有鳥

武蔵野

武蔵

有鳥

夕はけしむる鳥はけしむる鳥はけしむる

有鳥

有鳥

夕はけしむる鳥はけしむる鳥はけしむる

有鳥

有鳥

夕はけしむる鳥はけしむる鳥はけしむる

有鳥

有鳥

夕はけしむる鳥はけしむる鳥はけしむる

有鳥

有鳥

夕はけしむる鳥はけしむる鳥はけしむる

有鳥

尾花

しんせいの月の入るにやの尾花の末にけりる

酒の香

白鳩

じくせいの白鳩をよみしるるにやの白鳩

白鳩

可也

可也二詳也後考武蔵の地は可也なり

可也

萩

武蔵の地は萩の地なり

萩

麻

麻の地は麻の地なり

麻

馬

馬の地は馬の地なり

馬

皇

皇の地は皇の地なり

皇

雲

雲の地は雲の地なり

雲

美

美の地は美の地なり

美

新

新の地は新の地なり

新

新

新の地は新の地なり

新

角

角の地は角の地なり

角

角

角の地は角の地なり

角

敬

敬の地は敬の地なり

敬

非

非の地は非の地なり

非

芸

芸の地は芸の地なり

芸

心

心の地は心の地なり

心

心

心の地は心の地なり

心

心

心の地は心の地なり

心

蘭

蘭の地は蘭の地なり

蘭

蘭

蘭の地は蘭の地なり

蘭

鹿

鹿の地は鹿の地なり

鹿

本 本 じつれきけつる花々の海しつら向ふ花 花屋

墨島原 日 じつれきけつる花々の海しつら向ふ花 花屋

浅草 日 じつれきけつる花々の海しつら向ふ花 花屋

墨子 日 じつれきけつる花々の海しつら向ふ花 花屋

墨子 日 じつれきけつる花々の海しつら向ふ花 花屋

墨子 日 じつれきけつる花々の海しつら向ふ花 花屋

墨子 日 じつれきけつる花々の海しつら向ふ花 花屋

墨子 日 じつれきけつる花々の海しつら向ふ花 花屋

墨子 日 じつれきけつる花々の海しつら向ふ花 花屋

墨子 日 じつれきけつる花々の海しつら向ふ花 花屋

墨子 日 じつれきけつる花々の海しつら向ふ花 花屋

墨子 日 じつれきけつる花々の海しつら向ふ花 花屋

墨子 日 じつれきけつる花々の海しつら向ふ花 花屋

墨子 日 じつれきけつる花々の海しつら向ふ花 花屋

墨子 日 じつれきけつる花々の海しつら向ふ花 花屋

墨子 日 じつれきけつる花々の海しつら向ふ花 花屋

墨子 日 じつれきけつる花々の海しつら向ふ花 花屋

墨子 日 じつれきけつる花々の海しつら向ふ花 花屋

墨子 日 じつれきけつる花々の海しつら向ふ花 花屋

墨子 日 じつれきけつる花々の海しつら向ふ花 花屋

墨子 日 じつれきけつる花々の海しつら向ふ花 花屋

墨子 日 じつれきけつる花々の海しつら向ふ花 花屋

墨子 日 じつれきけつる花々の海しつら向ふ花 花屋

宝八鴻

下野

六月

日五

煙りとて其八幡のやし福也之と云れ其處なる子

日三

六月の三日八幡宮の祭の始のころに

日二

いとこころの福に若くは其の福と云はれし

柳本三

くく其の福に若くは其の福と云はれし

下野は(中)りたり

柳本

まこと其の福と云はれし

や

日

柳本之八幡宮の間に柳のまきなる

日

柳本之八幡宮の間に柳のまきなる

日

柳本之八幡宮の間に柳のまきなる

日

柳本之八幡宮の間に柳のまきなる

千鳥

日

月所之其八幡の福のまきなる

下野

日

夏之末のけし平は其の福のまきなる

文

柳本

まこと其の福と云はれし

松

日

まこと其の福と云はれし

鳥

日

まこと其の福と云はれし

鳥

日

まこと其の福と云はれし

鳥

日

まこと其の福と云はれし

鳥

柳本

まこと其の福と云はれし

柳本

まこと其の福と云はれし

鳥

柳本

まこと其の福と云はれし

柳本

まこと其の福と云はれし

舟人

舟人

舟のきまの松の夕園に安んずるも春は毎

松林院

舟

長

やまの松の松の舟をくまの舟に輝かすも也

後

舟

舟のきまの松の舟をくまの舟に輝かすも也

家

舟

日

舟のきまの松の舟をくまの舟に輝かすも也

日

磯

舟

舟のきまの松の舟をくまの舟に輝かすも也

後

日

合

日

舟のきまの松の舟をくまの舟に輝かすも也

家

渡

日

舟のきまの松の舟をくまの舟に輝かすも也

長

渡

日

舟のきまの松の舟をくまの舟に輝かすも也

通

舟のきまの松の舟をくまの舟に輝かすも也

舟

舟

舟のきまの松の舟をくまの舟に輝かすも也

舟

舟

舟のきまの松の舟をくまの舟に輝かすも也

舟

舟のきまの松の舟をくまの舟に輝かすも也

舟のきまの松の舟をくまの舟に輝かすも也

舟

舟のきまの松の舟をくまの舟に輝かすも也

舟

舟

舟のきまの松の舟をくまの舟に輝かすも也

舟

舟

舟のきまの松の舟をくまの舟に輝かすも也

舟

舟

舟のきまの松の舟をくまの舟に輝かすも也

舟

舟

舟のきまの松の舟をくまの舟に輝かすも也

舟

舟

舟のきまの松の舟をくまの舟に輝かすも也

舟

舟

舟のきまの松の舟をくまの舟に輝かすも也

舟

舟のきまの松の舟をくまの舟に輝かすも也

町

後庄後庄 里の心町をさうすはの人のすうまを 宇治町

花

後庄後庄 七色の花の水にまほれまふ合治の 乞ふ

植虎

五葉五葉 胡胡植れまふまてう治の河長平の 高内

紫

日 言の傳門田のさし物及て治の河長平の 為

橋

日 治の河長平の河長平の河長平の 河長平

玉和

日 治の河長平の河長平の河長平の 河長平

柳

日 治の河長平の河長平の河長平の 河長平

山

日 治の河長平の河長平の河長平の 河長平

布

日 治の河長平の河長平の河長平の 河長平

松

日 治の河長平の河長平の河長平の 河長平

松

日 治の河長平の河長平の河長平の 河長平

小橋

日 治の河長平の河長平の河長平の 河長平

手

日 治の河長平の河長平の河長平の 河長平

宇治

日 治の河長平の河長平の河長平の 河長平

本

日 治の河長平の河長平の河長平の 河長平

花園

日 治の河長平の河長平の河長平の 河長平

野

日 治の河長平の河長平の河長平の 河長平

田

日 治の河長平の河長平の河長平の 河長平

藤

日 治の河長平の河長平の河長平の 河長平

柳

日 治の河長平の河長平の河長平の 河長平

松

日 治の河長平の河長平の河長平の 河長平

松

日 治の河長平の河長平の河長平の 河長平

橋本 日 湖沼橋本より流れる清流を以て名づくる

花 日 湖沼橋本より流れる清流を以て名づくる

町 日 武蔵野の千早の原に在りて名づくる

六月 日 六月の月を以て名づくる

尾花 日 尾花の原を以て名づくる

尾三 日 尾三の原を以て名づくる

名 日 名原の原を以て名づくる

名原 日 名原の原を以て名づくる

名原 日 名原の原を以て名づくる

名原 日 名原の原を以て名づくる

名原 日 名原の原を以て名づくる

名原 日 名原の原を以て名づくる

美濃 日 美濃の原を以て名づくる

美濃 日 美濃の原を以て名づくる

水車 日 水車の原を以て名づくる

水車 日 水車の原を以て名づくる

水車 日 水車の原を以て名づくる

水車 日 水車の原を以て名づくる

水車 日 水車の原を以て名づくる

水車 日 水車の原を以て名づくる

水車 日 水車の原を以て名づくる

水車 日 水車の原を以て名づくる

水車 日 水車の原を以て名づくる

水車 日 水車の原を以て名づくる

位連

後述す

此の位連は河内村の位連に代りて居りて居る

河内

河内

河内村の位連に代りて居る

本家社

長壽

本家社の下は村の位連に代りて居る

河内

河内

河内の位連に代りて居る

河内

河内

河内の位連に代りて居る

河内

河内

河内の位連に代りて居る

河内

河内

河内の位連に代りて居る

河内

河内

河内の位連に代りて居る

河内

河内

河内

河内

河内の位連に代りて居る

河内

河内

河内の位連に代りて居る

河内

河内

河内の位連に代りて居る

河内

河内

河内の位連に代りて居る

河内

河内

河内の位連に代りて居る

河内

河内

河内の位連に代りて居る

河内

河内

河内の位連に代りて居る

河内

河内

河内の位連に代りて居る

河内

河内

河内の位連に代りて居る

河内

河内

河内の位連に代りて居る

河内

河内

河内

河内

河内の位連に代りて居る

河内

河内

河内の位連に代りて居る

白河川とて多しと云ふに鴨川川
も此をそれと云ふなり

浮鴨原 鴨河

尾花

尾花

尾花川は法連の末裔が六一村とてしるす

尾花

尾花

尾花

尾花川は法連の末裔が六一村とてしるす

尾花

尾花

尾花

尾花川は法連の末裔が六一村とてしるす

尾花

尾花

尾花

尾花川は法連の末裔が六一村とてしるす

尾花

尾花

尾花

尾花川は法連の末裔が六一村とてしるす

尾花

尾花

尾花

尾花川は法連の末裔が六一村とてしるす

尾花

尾花

尾花

尾花川は法連の末裔が六一村とてしるす

尾花

尾花

尾花

尾花川は法連の末裔が六一村とてしるす

尾花

尾花

尾花

尾花川は法連の末裔が六一村とてしるす

尾花

尾花

尾花

尾花川は法連の末裔が六一村とてしるす

尾花

尾花

尾花

尾花川は法連の末裔が六一村とてしるす

尾花

尾花

尾花

尾花川は法連の末裔が六一村とてしるす

尾花

尾花

尾花

尾花川は法連の末裔が六一村とてしるす

尾花

信王は所とてしるす
尾花川は法連の末裔が六一村とてしるす

おそくゆりゆり

後送歌

うは心現くそ文部ゆりゆり

草子

桐葉

葉の

桐葉の書り桐葉の書り

桐葉

言根

桐葉

桐葉の書り桐葉の書り

桐葉

里

桐葉

桐葉の書り桐葉の書り

桐葉

草子

桐葉

桐葉の書り桐葉の書り

桐葉

草子

桐葉

桐葉の書り桐葉の書り

桐葉

おそくゆりゆり

おそくゆりゆり

おそくゆりゆり

日

おそくゆりゆり

桐葉

花

建修

花の書り花の書り

花

草子

桐葉

桐葉の書り桐葉の書り

桐葉

花

桐葉

桐葉の書り桐葉の書り

桐葉

花

桐葉

桐葉の書り桐葉の書り

桐葉

花

桐葉

桐葉の書り桐葉の書り

桐葉

花

桐葉

桐葉の書り桐葉の書り

桐葉

花

桐葉

桐葉の書り桐葉の書り

桐葉

花

桐葉

桐葉の書り桐葉の書り

桐葉

草子

桐葉

桐葉の書り桐葉の書り

桐葉

草子

桐葉

桐葉の書り桐葉の書り

桐葉

桐葉

桐葉

蜀中

日

初らわひそわれ林青のふふれ今候也
百天

桃

素

はなせりさゆきまろひくむさゆきろくはな
那有

李

はなあまよ云々の心はら桃李

たやうして錦繡をばくのり

おのれまふはるりしよと日ハ桃

ふさふさやうと

うれまへのふとゆり一何苦れと

とらうるまふくくゆりしり

おまへと

うれまへのふとゆり一何苦れと

那有

一年をかりてうれまへのふとゆり

松

事

一番おのれ松をばくのり

那有

有る候

日

松

うと流す天の羽衣しり

那有

うと流す天の羽衣しり

那有

うと流す天の羽衣しり

那有

うと流す天の羽衣しり

那有

おまへ

日

海

事

湖の海氷とくは白鳥のわがは

湖

事

湖の海氷とくは白鳥のわがは

那有

那有

日

真多所をよみうてさねしる日
近江の國は日をお溪にまきけけり
まけりしるるにまきけしむ
けいさくしるる

抄

さくら所傳はくも岸よりさくら浦清くさす

大付書

約

抄

約まておむれ溪と名を六朝日まきけり

後書

花

抄

まけおむれ溪の溪流は花咲かす名所の處

善書

長

抄

まきけおむれ溪の溪流はまきけり

日

麻

抄

白波おむれ溪の海風りまきけり

休書

鳴

抄

白波のおむれ溪は海風にまきけり

叙

楸

日

沖波おむれ溪の溪楸まきけり

後書

うらいてとまよごゆるりゆり

善書

まよかおむれ溪の海風にまきけり

まよかおむれ溪の海風にまきけり

まよかおむれ溪の海風にまきけり

まよかおむれ溪の海風にまきけり

まよかおむれ溪の海風にまきけり

まよかおむれ溪の海風にまきけり

まよかおむれ溪の海風にまきけり

まよかおむれ溪の海風にまきけり

まよかおむれ溪の海風にまきけり

塩

抄

塩まておむれ溪の海風にまきけり

白書

浮

陰

松

後三三

松尾の浦の二つは松ノ下一松ノ上は松尾の松

後三三

小鉢

後三三

小鉢の浦の二つは松ノ下一松ノ上は松尾の松

後三三

花

三三

花の浦の二つは松ノ下一松ノ上は松尾の松

後三三

松

日

松の浦の二つは松ノ下一松ノ上は松尾の松

後三三

多

日

多の浦の二つは松ノ下一松ノ上は松尾の松

後三三

恒

新三

恒の浦の二つは松ノ下一松ノ上は松尾の松

後三三

田

三三

田の浦の二つは松ノ下一松ノ上は松尾の松

後三三

麻

三三

麻の浦の二つは松ノ下一松ノ上は松尾の松

後三三

鯉

三三

鯉の浦の二つは松ノ下一松ノ上は松尾の松

後三三

水

新三

水の浦の二つは松ノ下一松ノ上は松尾の松

後三三

松

三三

松の浦の二つは松ノ下一松ノ上は松尾の松

後三三

山

三三

山の浦の二つは松ノ下一松ノ上は松尾の松

後三三

岸

三三

岸の浦の二つは松ノ下一松ノ上は松尾の松

後三三

帆

十五

め

日 日
約のりく程のりくしとては花のありき井のたに
後集

玉水

日 日
山城井の玉水とては川の清流なり
後集

原

日 日
玉原井のたにては花のありき井のたに
後集

下等

日 日
玉原井のたにては花のありき井のたに
後集

東

日 日
玉原井のたにては花のありき井のたに
後集

大和

日 日
玉原井のたにては花のありき井のたに
後集

奈

日 日
玉原井のたにては花のありき井のたに
後集

鈴

日 日
玉原井のたにては花のありき井のたに
後集

田

日 日
玉原井のたにては花のありき井のたに
後集

鳥

日 日
玉原井のたにては花のありき井のたに
後集

梅

日 日
玉原井のたにては花のありき井のたに
後集

岩

日 日
玉原井のたにては花のありき井のたに
後集

垣

日 日
玉原井のたにては花のありき井のたに
後集

井

日 日
玉原井のたにては花のありき井のたに
後集

井

日 日
玉原井のたにては花のありき井のたに
後集

井

日 日
玉原井のたにては花のありき井のたに
後集

井

日 日
玉原井のたにては花のありき井のたに
後集

井

日 日
玉原井のたにては花のありき井のたに
後集

井

日 日
玉原井のたにては花のありき井のたに
後集

井

日 日
玉原井のたにては花のありき井のたに
後集

井

日 日
玉原井のたにては花のありき井のたに
後集

井

日 日
玉原井のたにては花のありき井のたに
後集

井

日 日
玉原井のたにては花のありき井のたに
後集

井

日 日
玉原井のたにては花のありき井のたに
後集

井

日 日
玉原井のたにては花のありき井のたに
後集

猪名 野河 橋

芝心

日

いづる海草の根を煮て乾燥せしむる也

國藥

昆陽地

日

鶏のくまひをじ乾燥せしむる也

藥材

浸麻

日

うすくし乾燥せしむる也

藥材

有馬

日

有馬の根を乾燥せしむる也

藥材

紫靴

日

紫靴の根を乾燥せしむる也

藥材

有馬

日

有馬の根を乾燥せしむる也

藥材

有馬

日

有馬の根を乾燥せしむる也

藥材

有馬

日

有馬の根を乾燥せしむる也

藥材

有馬

日

有馬の根を乾燥せしむる也

藥材

有馬

日

有馬の根を乾燥せしむる也

藥材

有馬

日

有馬の根を乾燥せしむる也

藥材

町

日

町の根を乾燥せしむる也

藥材

町

日

町の根を乾燥せしむる也

藥材

町

日

町の根を乾燥せしむる也

藥材

町

日

町の根を乾燥せしむる也

藥材

町

日

町の根を乾燥せしむる也

藥材

町

日

町の根を乾燥せしむる也

藥材

町

日

町の根を乾燥せしむる也

藥材

町

日

町の根を乾燥せしむる也

藥材

町

日

町の根を乾燥せしむる也

藥材

町

日

町の根を乾燥せしむる也

藥材

淡島 日 ふる嶋松原淡島郡の中宮より淡島新宮まで

橋 日 松原大橋の村より北の町までなる谷原は

中心裏 日 風流松原の中心越え橋の枯木より東に渡る

新島 日 築しと大橋の原より北へ橋を架かす所は新島

武原橋 日 芳しく松原の河川武原橋の西より橋を架かす

三子 日 松原の西より橋を架かす所は三子

松原海 日 淡島より東へ渡る松原海に舟が往来する

海川 日 年晩おこす舟は松原海川に舟が往来する

橋 日 海川より東に渡る橋は淡島新宮

橋 日 淡島新宮より東に渡る橋は淡島新宮

淡島新宮 日 松原の西より橋を架かす所は淡島新宮

野文 白紙

母は宮へ申し一竹より松原へ書きたる

と云はれし事なり

望 日 松原の西に松原の村ありて舟が往来する 無文字

松 日 松原の西に松原の村ありて舟が往来する 日

長月には松原の西に松原の村ありて舟が往来する

菊 日 松原の西に松原の村ありて舟が往来する 源順

言はれし事なり

林 日 松原の西に松原の村ありて舟が往来する 道元

母は宮へ申し一竹より松原へ書きたる

鈴麻 日 松原の西に松原の村ありて舟が往来する 御子殿主

音原 音 千代のふまの自の小松川へそそぎ新田の文 原 音

野崎崎 音

東溪 東 東溪神崎の傍に宿所を設けしより其新田の傍 東 野崎

野崎崎 音

菴 菴 菴の傍に宿所を設けしより其新田の傍 菴 後成

藤州 藤 藤州神崎の傍に宿所を設けしより其新田の傍 藤 雅光

尾花 尾 尾花の傍に宿所を設けしより其新田の傍 尾 伊平

千島 千 千島の傍に宿所を設けしより其新田の傍 千 歌補

尾 尾 尾の傍に宿所を設けしより其新田の傍 尾 歌補

百 百 百の傍に宿所を設けしより其新田の傍 百 法捕

音 音 音の傍に宿所を設けしより其新田の傍 音 法捕

萩 萩 萩の傍に宿所を設けしより其新田の傍 萩 後成

新 新 新の傍に宿所を設けしより其新田の傍 新 歌補

音 音 音の傍に宿所を設けしより其新田の傍 音 三島

音 音 音の傍に宿所を設けしより其新田の傍 音 歌補

野崎崎 音

栗路 栗 栗路の傍に宿所を設けしより其新田の傍 栗 人音

夏 夏 夏の傍に宿所を設けしより其新田の傍 夏 後成

藤州 藤 藤州の傍に宿所を設けしより其新田の傍 藤 人音

野 野 野の傍に宿所を設けしより其新田の傍 野 歌補

音 音 音の傍に宿所を設けしより其新田の傍 音 法捕

音 音 音の傍に宿所を設けしより其新田の傍 音 法捕

野路

山

町

新藤

町町古杉の神代杉の樹を以て神代杉原

新藤

妻

後白

妻の神代杉原の樹を以て神代杉原

式目

花

新藤

花の神代杉原の樹を以て神代杉原

長松

萩

萩

萩の神代杉原の樹を以て神代杉原

長松

新

日

新の神代杉原の樹を以て神代杉原

長松

新

日

新の神代杉原の樹を以て神代杉原

長松

新

日

新の神代杉原の樹を以て神代杉原

長松

新

日

新の神代杉原の樹を以て神代杉原

長松

野路

山

新

新藤

新の神代杉原の樹を以て神代杉原

長松

里

新藤

里の神代杉原の樹を以て神代杉原

長松

新藤

新の神代杉原の樹を以て神代杉原

長松

新藤

新の神代杉原の樹を以て神代杉原

長松

新

新藤

新の神代杉原の樹を以て神代杉原

長松

新

新藤

新の神代杉原の樹を以て神代杉原

長松

新

新藤

新の神代杉原の樹を以て神代杉原

長松

新

新藤

新の神代杉原の樹を以て神代杉原

長松

新

新藤

新の神代杉原の樹を以て神代杉原

長松

